

カーレット

(主なルールを抜粋)

ルール要点 公式戦(3人対3人)で競技する場合のルールの要点を抜粋、説明します。

●競技方法

1人が2個のストーンを持ち、1チーム3人ずつが対戦相手と交互に2投ずつ投球、1エンド合計12投します。

6人が投げ終わった後、ハウス中心にいちばん近いストーンของทีมが勝ち、相手より中心に近いストーンの数に点数になります(図1)。

8エンド行い合計点で勝敗を決めます。敗戦チームは必ず1エンド0点になりません。



図2

上図3、下図4



●滑らせる

姿勢 1、的に向かってまっすぐ立つ(座る)。

左手 2、左手は台の上に置く(図2)。

右手 3、右手は図3、図4の形です。

力のない方は特例(※注1)で手を横にし、手首を使いますが、方向性が悪くなります。試合前に指導員に必ず申し出、指導を受けてください。

モーション 4、図2、3の形から、狙う方向にまっすぐ、2、3回モーションし投げます。



図5

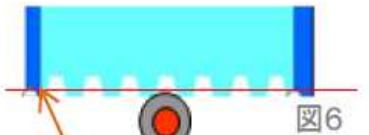


図6

ホッグライン

青いマットのつなぎ部分の投球側がホッグラインになります

スカート

※注意1 お子様や、力の弱い方の横投げは大変危険なので十分注意してください。必要以上にスピードが出てしまい、ストーンが飛び出してしまう恐れがあります。

●アウト

アウトになったストーンはフロアから速やかに取り除きます。

ホッグラインアウト

ホッグラインまで届かないストーンはアウトとなります。

※注意2 ラインに接触していればセーフとなります。

フリーガードゾーンアウト

1、フリーガードゾーンルールはそれぞれのチームのリード(1人目)の1投目と2投目だけに適用されるルールです。

セカンド(2人目)、スキップ(3人目)は適用外です。

2、フリーガードゾーン内相手ストーンをプレーエリア(ホッグライン~ティーラインの間でハウスを入れた範囲)から直接、間接に当てて出し、アウトにすると、当てたストーンは元に戻します。自身のストーンに当たって出た場合も同じです。

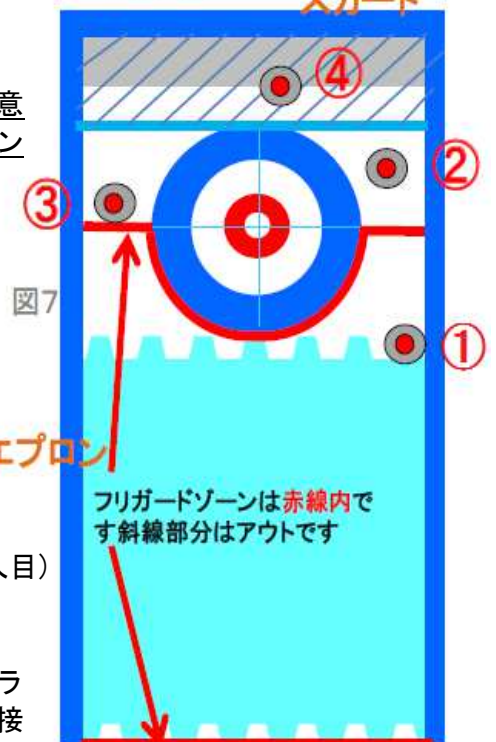


図7

エプロン

フリーガードゾーンは赤線内で斜線部分はアウトです

図7のストーンは当てられた相手のストーン位置です。

①セーフ ②アウト ③セーフ ④アウト

ストーンの転がり

投げたストーンが転がった場合はそのストーンはアウトになり速やかに取り除きます。
当てられたストーンは元に戻します。

スカートからの跳ね返り

強く投げたストーンは、安全のために作られたスカート、セーフディッチで跳ね返って中に入ってくることがあります。跳ね返ったストーンはアウトでそのストーンに当たったストーンは元に戻します。

●エプロンの利用

エプロンを利用しストーンを反射させる攻撃は、攻略法の広がり、高度なテクニックが身につくことになり、カーレットでは重要な要素になります。

※注意3 カーレットはフェア精神で競技します。判定は相互のチームで決めます。
どうしても判断がつかない場合は第三者、あるいは指導員から助言を得てください。